

移植民
祖國近
からみた

ほんとに何處の移民だい。
俺等はブラジルに道徳してゐる
んじやない。妥協でもない。大
和民族二千年來の、開拓精神で
やつてゐるんだ。

▲滿州で日支がチャンバラとや
り出した。
帝原さん仲裁に這ひ出るだろと
豫想してると、仲々今度は出
やばらない。頬被りの中から強
硬な聲色だ。平和外交の後輩に
連すると矢張武力と一致頗
んと一つ喰らはしてからと云ふ
事になるんだなと感スンしてゐ
と。

居占山將軍も漢山滿野^{ハルカニ}を埋
むとも日本兵を撃滅の口唇もな
く雪の黒龍江^{コクロン}本兵で占據。
今度は脅學^{キョクセイ}良に最後の止めを刺
して呉れる備耕^{ビヨウ}總攻撃だ……
…と全く信じきつて居たら、
ヤンキースチムソノ外相と幣原
外相コブンナ手を握り合つて錦
州は「た思召通りやらせまぜぬ
わ」だつたそうな。

海外に居る日本の野郎共は、
ヤンキースチムソノ内閣が、否ヤン
キーにしてやられつゝあるかを
知らないものだからいけねいの
だ。

日本の民政内閣は妥協^{トガフ}道徳の
經^キケ闇外交で倒れなんでなく、
矢張ヤンキから「ね鳥目」を催
促するしんで倒れたんだうな
戦を彼と交へたら決して負ける
ものかと大威張で南滿洲^{ミンシ}として
土匪や學校坊主や便衣隊や正規
女をドン^{ドン}裸^{ヌード}出ししたが
日本では滅茶^{ミツサ}をやつた田中
内閣を出した政友會が幣原外
相に更つて廟堂に立つてしまつ
た。今度はやられるだろよ。

新^{シン}ともキン^{キン}城はナタール
矢張ヤンキ^{ヤンキ}からの申込注文が
金の支拂^{支拂}不^可拒^却ばぬのかな
になつた。野郎たれて居た時は、ヤンキ^{ヤンキ}
喰^食への政友會でなかつたか。
日本外交もモウソ^{モウソ}と定石^{定石}
ばかり打つて解^解ずと、一九三二
年式に墨黒戰術の一つもやつて
ヤンキ^{ヤンキ}やシヤイロ^{シヤイロ}フク^{フク}と
させたら何ん^かものやな。
ブラジルで歐州^{ヨーロッパ}移民^{ミグリ}喰^食らへ
で立派な腰前^{ヒザマサ}を見せて居るのは

恭賀新年

リンス青年會

謹賀新年

バール きちせ

吉瀬軍平

謹賀新年

恭賀新年

リンス日本人會

恭賀新年

バール

經營

賀數輝俊

（ラス市セフナデセフンブ）

（カイスガマ角）

精米所
珈琲精撰所

廣木合資會社

（原實藏 山本利助 浅利野實 廣木義人）

恭賀新年

市スンタ

賀正
リンス中央日本人會

謹賀新年

バール 源河 幸榮

（ラス市）

支店
（ノロエステ洗濯店）

（青年會前）

謹賀新年
比嘉 松義

（電二七番）

謹賀新年

市スンタ

森部果樹園
（みかん苗其他苗樹一切）

（ダワキナーラ牌）

（郵函二〇三）

賀正
庄佐山藤才新市スンタ

謹賀新年
医學士 今田求

謹賀新年
カーヴ東山
（代理人 森部一衛）
（電話一四四六一）

（郵函二〇三）

（ラス市）

謹賀新年
バール 東京

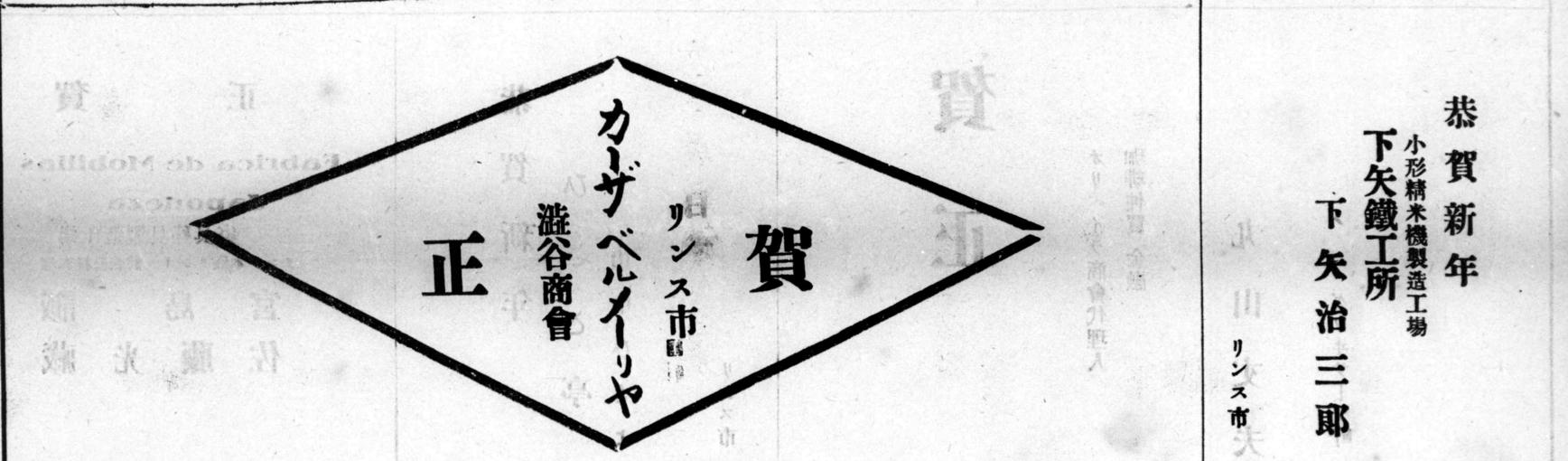
（ラス市）

謹賀新年
バルミツタル日本人會

謹賀新年

球陽協會リンス支部

| | | | | |
|----------------|------------|------------|------------|------------|
| 日用品販賣 太郎藤下山 | 賀正 | 新年賀 | 新年賀 | 恭賀新年 |
| 町ナーリツエジスンリ | スンリ町ナーリツエジ | スンリ町ナーリツエジ | スンリ町ナーリツエジ | スンリ町ナーリツエジ |
| 本作木喜 | 恭賀新年 | 時計修繕所 | 中村鐵工所 | 恭賀新年 |
| 木作木喜 | 高橋忠一 | 建築請負業 | 中村仁太郎 | 恭賀新年 |
| 木作木喜 | 水城磯次 | 保科松五郎 | 齊藤義一 | 恭賀新年 |



| | | | |
|------|-------|------------------------------|-----------------------------|
| 青木商店 | 新年賀 | 大西鐵工場 | 本田安記 |
| 店員一同 | 營業課目 | 自動車用鐵製車輪 製麵機其ノ他 諸機械製作 | 新築請負業 花アフレ 餅二菓子 東山 |
| リンス市 | 大西留三郎 | 御見舞に 御土產に 御見舞に 御見舞に | 恭賀新年 佐納政治 ソニス市 |

| | | | |
|-------|------------------------------|---------------------|-----------------------------|
| 相原理髮店 | 新年賀 | 佐納政治 | 恭賀新年 |
| 平原相 | 小學校前 | 竹熊野菜園 | 建築請負業 花アフレ 餅二菓子 東山 |
| 市スンリ | 御見舞に 御土產に 御見舞に 御見舞に | 祝儀に 演藝に 貸太鼓アリ | 恭賀新年 佐納政治 ソニス市 |

「コブツ」の脚本編集部
在支那人が學生を筆頭に勞
働者、行商人、コブツ等、どし
くと別項の如く歸國してしま
つたので、これらを相手の學校
下宿屋、商人等は不景氣の上、餘り
困り易いのであるが、中でも一
因つるものは、支那料理である。
△うまいが自慢で賣り出した大
切なコブツさんが右の熱末で、い
い料理が出来なくなつて、看板
が悪くなるといふ始末。上野山
下の翠松園、芝浦の雅叙園には、
各々八人の腕つこぎが居るが、こ
そではみずか君連が歸國した時
でコブツさん仕事場が入らず、
支配人はふくれ上つてゐるそうち
だ。由來支那人コブツは日本人
に絶対板場の極意を傳授しない
ので日本人コブツで間に合はせ
る譯には行かぬので、味覺の世界
に大異状を呈した

一故國に戰争が始まつて大將連
が大金を以て兵隊を抱へるとい
ふから不景氣を日本内地で
引上げ一つ金儲けをやるんだ
と諭語してゐる始末、次ぎの學
生になると大概は
歸郷するが毎日會
の中堅どろに一躍出世?し
「日本は中國人を虐遇すること
甚だしい」と得意のデマ戰術
を用ひてゐる點で約五百人
○最も滑稽なのは學生以外の無
知な支那人で南京政府が各外の無
事の手から歸郷するに一轍り二
十圓乃至卅圓支給し又旅券、査證
とすると言つてラン^ル押しかけ
けて旅費をせしめ旅券を持つて
これを他人に賣拂ひ韓國せざる者
や、横濱の中華會が歸國者の保
護をやるといふと
東北邊りと浮浪してゐた支那
人労働者がドッと押寄せ中華
會に一ヶ月も是喰して動かぬ
など當事者は辟易して「何とかぬ
か解決して下さい」と心が官
憲に取締り方を願ひ出る有様
○いはゆる支那人氣質が今回の
事變を通じて隨所に見受けられ
てゐる

旅費だけせしめ
歸ら四支那人
暴戾なさ那と膺懲せ
よ——といふ呼びが
白熱化して來た昨今
内地在住の中国人で
故郷へ引上げる者は
總出して既に三千人
を突破してゐる

三

松谷正治

ランス

林澄彦

10

知正人

ムツソウ

1

大毒角之助

二二

1

E

賀
新

讀書新紀元

様小生借合度お詫び反対よりうなづかの間
移轉致し本年度より精米業と相管み申候間益々諸賢の御愛顧仰引立程御願申上候

グラセリオ群美ラウナ町

11

年
オリンピア
青年會

| | | | | | |
|------------------------|---------|---------|---------------------------|-----------------|-----------------|
| | | | | | |
| 謹賀新年 歯科醫 清 水 安 丸 | 松 藤 初 市 | 謹賀新年 | 賀 正 山 口 牛 松 | 賀 正 藏 原 敏 秋 | 賀 正 花 田 郡 藏 |
| プロミツソン群 | プロミツソン群 | プロミツソン群 | プロミツソン群 プロミツソン群ベーナンブコ街 | プロミツソン群 | プロミツソン群 |
| 恭賀新年 橘洋服店 橘 八 郎 | 久 次 均 | 恭 正 | 雜貨・小間物 食 料 品 商 | 謹賀新年 坂 本 律 造 | 謹賀新年 木 村 來 松 |
| アバニヤンダーバ群 | | | | プロミツソン群 | プロミツソン群 |
| | | | | | |
| 謹賀新年 正 續 雪 太 郎 | | | | | |
| 屋 比 久 孟 德 | | | | | |
| 山 下 藤 大 | | | | | |
| 謹賀新年 坂 本 留 次 郎 | | | | | |
| 恭 賀 新 年 下 田 眞 藏 | | | | | |

Moura Andrade & cia

**Cmmissario de Cafè
em Santos**
Representante na Zona Noroeste

Suyeo Tsuzuki

Caixa Postal, — 35
Estação Premium

エヌテー
訪れ

古
闢
生

賀

桂正川悅造

賀 正 鐘 江 和 次 郎

謹賀新年

新青年聯盟 日本人會 比利牛斯

謹賀新年
バーナ並理髮店
浦六平
ビラグキ

佐々木郭吉

正賀園部洋服店 ピリダキ屋

時 謹 賀 新 年

卷之三

ビリグヰ驛

ホテル・セントラル

100

森田松二

新舊書

Hotel Cen Nippolandia-Biriguy

恭賀新年
モデルナ洋服店
飯島義政
Maria Moderna.
-85 Biriguy

Hotel Nippō

Alfaiaataria Moderna
Caixa-85 Biriguy

齒科鑑

謹賀新年

伊藤達也

並二雜貨商

ノロエスラ旗ビリグキ群

100

ノロエスラ線ビリグキ群

謹賀新年

チエテ移住地事務所

恭賀新年
中央病院

恭賀新年

謹賀新年
清水仁六
運搬業 櫻木鐵造
希望青年聯盟
ベラクルース

謹賀新年

安元青太商店

三輪印ブランタ機
ハ物製造

謹賀新年

酒井兄弟工場

酒井福太郎
從業員一同
ガルナ

郵函六五

賀正

第二アリアンサ
鳥取信用購買販賣組合

組合長

常務理事

幹事
理事
佐米高内野
加藤原藤茂
田内卓友
坂尾貞藏
山田實
鐵馬貢
橋要藏
坂友藏
坂敬一

恭賀新年
御宿
加藤兒一郎

チエテ移住地
事務所前

第二アリアンサ
鳥取移住地
事務所

主事
書記
永原毅

恭賀新年

謹賀新年
熊本住移地植民醫
高橋幾松

看護婦
原靜江

薬剤師
大坪建治

青柳半吉
千葉正

ドットル
ジャイメ

恭賀新年
清木仁六

謹賀新年
ガナル

恭賀新年
希望青年聯盟
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年

希望青年聯盟
ベラクルース

謹賀新年
橋本寫眞館
橋本傳吉

謹賀新年
ドアルチーナ

謹賀新年
ガナル

希望青年聯盟
ベラクルース

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
本田勇作

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店

謹賀新年
福野屋旅館

ダルナ
青柳半吉

マルナ

謹賀新年
運搬業 櫻木鐵造
ベラクルース

謹賀新年
ガナル

謹賀新年
原口商店



歸國に際しての感想

一九三二年一月一日 佐藤次郎

謹賀新年 利光格

謹賀新年 パール並製果

吉岡覺一

謹賀新年 御料理紀之國屋

土谷庄之輔

謹賀新年 建築請負

下田幸助

謹賀新年 パール末廣

小出虎雄

マリ、ア輝

恭賀新年

恭賀新年

謹賀新年

謹賀新年

マリ、ア輝

別府海次郎

村上義雄

道下鐵工所

歯科醫島田正吉

マリ、ア輝

仕伯二十二年の願望が叶ふて私つた。大いに働いたが約束した一万圓は送金とはならず、子孫のための美田と化して仕事つかれに臨んで何等かの感想がある。母と姉弟に對する約束がどうか……との友の頼みである。母に對し又姉妹に對して約束した事を追憶する。意外他に何ものもない。私の約束とは、十ヶ年勤いて日本金盞万圓を土産として再び郷土に歸る事であつた。私は果たして其約束を履行成し得たであらか。其れに先立つて私の腦中をかきみだす走馬燈は、ぼんとうに二十二年間もパラジルに過ごし、あらうかと、怪しみ事である。今日は八人の子の父として食卓についた時に於てのみ二十二年の年月は経つたのだと言ふ。想が湧く、而し二十才の青年として渡伯した當時の氣分と、四十九歳の今日の氣分とに何等の相異がない。が反音されない。

約束した十ヶ年は十二年の昔に過ぎ去つたが歸國は出来なかはらざる私の感想である。以上が今日歸國に際したいたる私の感想である。

謹賀新年 製靴並修繕所

佐伯仁助

Hotel Estação 本テル エスタソン

村上義雄

謹賀新年 道下兼太郎

岩本鐵工所

謹賀新年 岩崎司三

謹賀新年

マリ、ア輝

謹賀新年

謹賀新年

濱田虎雄

マリ、ア輝

謹賀新年

岩本三六

謹賀新年

マリ、ア輝

マリ、ア輝

賀正

パウリスタ延長線

青年聯盟

本部マリ、ア輝

村崎豊重

謹賀新年

御菓子製造卸小賣商

マリ、ア輝

謹賀新年

山本洋服店

マリ、ア輝

マリ、ア輝

マリ、ア輝

謹賀新年

深津増太郎

パール並果物商

謹賀新年

大島洋服店

マリ、ア輝

謹賀新年

大島惣松

マリ、ア輝

マリ、ア輝

マリ、ア輝

謹賀新年 雜貨商

山下唯一商店

マリ、ア輝

年賀状

浅見生

K兄。

御健在の御事と信する。お互の間の御無沙汰勝が、こうした日並な年賀状によつて、ともすれば忘れられんとする、舊い友の模となつてくれる事を喜ぶ。

君の得意の右下の文字が踊つてゐる年賀状は、もう九枚も

年を経たわけだ。今更のやうに歲月の過ぎゆくの早いのに驚き入るばかりだ。

變化に富んだ生活を振り返してお互ひが、デカイ希望を小

倉服に包んで、毎日同じ道を通しながら、大いに語つたのは

来な僕には「十年」と云ふ星籍が實際的だ。愚吐く間もない

僕は相手の生活をしてゐる

「異國に彷徨ふ」といふのが僕に負はされた宿命なんだつた。

僕は相手の性質として相手へれば、威儀は新たに沸いて實に深い。

僕は相手の生活をしてゐる

「異國に彷徨ふ」といふのが僕に負はされた宿命なんだつた。

僕は相手の性質として相手へれば、威儀は新たに沸いて實に深い。

僕は相手の生活をしてゐる

「異國に彷徨ふ」といふのが僕に負はされた宿命なんだつた。

僕は相手の性質として相手へれば、威儀は新たに沸いて實に深い。

謹賀新年

アグアツベイ聯合日本人會

アラナフーパ樂更新

謹賀新年

アラナフーパ樂更新

大原兄弟商會

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

謹賀新年

カーザ

代辦人

アラサンバ市

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

東山

アラサンバ市

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

大原榮藏

本店

アラサツーバ市

支店 サンバウロ市
支店 グワラ、ペス町

田口洋服店

の方々に

初めてお目にかゝつた
時の印象上

此の方がお便り様からフリゼ
ンディロにおなりなされた方か
と云ふ、こちらの扱はれた氣持
もあつたんでござつてしまふか
日にやけた頭筋に結果い敵のお

謹賀新年

大量仕入
薄利多賣

イグアベ郡レジストロ市街地
莫服(マフ)物(モハ)物(モハ)小間物(モハ)戸
内外食糧品(モハ)一切(モハ)小間物(モハ)金物(モハ)

スマンダード株式会社特約代理店
ジャカレ品石油ガソリナオリオナガリ小間物(モハ)

ノロエヌラ線(モハ)ノス

ノロエヌラ線(モハ)アラナバ支店
店主菅山鶴造

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山吉

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山光

ノロエヌラ線(モハ)支店
電話二〇番

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山喜

農田源行

同一者耕在
麻スナ

Casa Ideriha

Ideriha Yozo
Caixa Postal - 208
Araçatuba

謹賀新年

内外雜貨食料品
農產物仲買

出利葉商店

出利葉羊三
アラサツーバ市
郵局二二〇八

謹賀新年

内外
雜
貨
食
料
品
一
切

重松商店

重松市作
アラサツーバ市

重松德治
ガラ、ベス町

Casa Koga

恭賀新年

雜貨 小間物 食料品類

古賀商店

アラサツーバ奥
ガラ、ベス町

Casa Tatemoto

謹賀新年

雜貨 食料品
ブラジル物産代理店

建本商店
建本健介

アラサツーバ奥
ガラ、ベス町

建本商店
建本健介

アラサツーバ奥
ガラ、ベス町

謹賀新年

内外
雜
貨
食
料
品
一
切

重松商店

重松市作
アラサツーバ市

重松德治
ガラ、ベス町

Feliz Anno Novo

Casa Sugayama

大量仕入
薄利多賣

イグアベ郡レジストロ市街地
莫服(マフ)物(モハ)物(モハ)小間物(モハ)戸
内外食糧品(モハ)一切(モハ)小間物(モハ)金物(モハ)

スマンダード株式会社特約代理店
ジャカレ品石油ガソリナオリオナガリ小間物(モハ)

ノロエヌラ線(モハ)ノス

ノロエヌラ線(モハ)アラナバ支店
店主菅山鶴造

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山吉

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山光

ノロエヌラ線(モハ)支店
電話二〇番

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅山喜

ノロエヌラ線(モハ)支店
主任菅

居た。然しあの農務長官カンドード・モツタ氏に至り再び契約が成立し爾來坦々たる平野を行くか如く引續き移民の入國があつたので、今や殆んど十二万人と稱されて居る。誠に以つて慶す可きである。

然し此の十有余万の移民は何の爲めに送られたか。二十年前私共の日本を出る頃は、移民と出稼の語はシノニモで爲政者も學者も入超で債務國である伊豆に國體昔のバランスがこれより、マルタス移民となり、

ふので、内務大臣まで民間問題に乗出す様な始末となり、昔は口がなき神戸之兒に、「ラジル移民が人間なら、蝶や蜘蛛も鳥の中と歌はれて居たのが、今度は洋行者であり國士であり得る事となつた。

僅か廿年の間に「ラジル移民の看板は爲政者に依り、實業家により、學者により斯くもアーヴィング移民となり、マルタス移民となり、

私は一九一二の若狭丸の甲板からラントス埠頭に産み落された一人であるから、ラントスで今年成年に達する。即ち法的に能力者たるの資格を得る譯である。又事實は遠やつて來た事は悉く青少年時代の徒ら事に等しく、數多の友人諸君に迷惑をかけた事許多で、衷心忸怩なるものがある。然し本年からは壯年として一人前のブリッジル社會人として、將來の在伯生活にひとつ意義あらしめ度いと思ふ。これは今ベシを握り往々頗る羨みに浮んで年頃の感である。今から丁度廿年前の一九一二年木、在伯船脇はやつと一万人であった。それも同一年初めて七千人と云ふ移民の大衆的輸送をやつた爲め、それ迄の五ヶ年間にはやつと四千人入國したのみに過ぎなかつたから、在伯同胞の存在が鮮明になつたのは先づ此の年からであらう。

然し其翌年三月三千人來た限り、當時の最高長官で北米仕込みで、北米がぶれて居たモライヘ・バッロス氏が例のインデゼシャーヴェニールを移民として禁じたので爾後三年間移民は中斷した。私は此の時非常に心淋しく感じた事は今尚ほ忘れること出来ない。雪つて私は同氏の耕地で一夜宿の機會を得たので、其間の消息を質して見た。然し氏は「退官後日本へ漫遊したいに勧せられ、又よく日本の事情を究めて來たので、所謂「君子は豹變する」か、日本人は優秀な民族であると口を極めて賞揚し、あの時は歐州移民の渡來が澤山あって別に莫大な旅費を補助して遠い東洋まで労力を必要がなかつたと辨解して

卷之三

10

| | | | |
|-----|----------|-----|------|
| 賀新年 | 西島仁作 | 賀新年 | アバレ市 |
| 雜貨商 | アバレ驛 | 雜貨商 | |
| 賀新年 | 竹川時太郎 | 賀新年 | |
| 雜貨商 | アバレ市 | 雜貨商 | |
| 賀新年 | 成田友喜 | 賀新年 | |
| 雜貨商 | アバレ市 | 雜貨商 | |
| 賀新年 | 小淵直吉 | 賀新年 | |
| 雜貨商 | オウランニオス驛 | 雜貨商 | |
| 賀新年 | 戸根寅太郎 | 賀新年 | |
| 雜貨商 | オウランニオス市 | 雜貨商 | |

卷之三

謹賀新年
正月元旦

舊年中は一方なら
ぬ御引立に預り誠
に有難く存し奉候
猶本年も相變らず
御引立の上弊店醸
造の黒島印醤油御
使用の程奉願候也
敬白

印島黒
黒島伊平治
プロミツソン町



黒島伊平治
醸造所

舊年中は一方ならぬ御引立に預り誠に有難く存し奉候
猶本年も相變らず御引立の上弊店醸造の黒島印醬油御使用の程奉願候也
敬自

(東京報) 文部省では、英、獨、英、米等歐米諸國の現況に鑑み、國家の育英教育事業をなすことにより、來年度重新に新規要求を提出してゐるが、大體大藏省の承認を得る見込み。左の如き要項で來年度から貧困にして學資を子弟にして上級學校へ進學する希望を有し且つ相書の能力を有する學生のために學資給付金を出し開くこととなつた。これは從來諸公、財產家等が行つてゐた民間の育英事業の延長に鑑み給費を受けた學生に國家は何等の恩恵と義務を負はせざるが、その新憲法の明文にそなへば、その義務を規定し更に官公私立の學校では出来るだけ廣範圍に授業を免除する方法を講じてゐる。

我國が國家の事業として育英教育を行ふことは、昭和七年度より經常費として年額三十萬圓を國庫より全額各府縣に半額補助金として支出し、各府縣は之れに三倍の額を加へて合計六十一萬圓を以つて育英教育事業を行ふ。官公私立の大學生門校程度の學校と中等學校と大專門學校の内、年額五百五十萬圓に増額することと、師範給費制度の廢止に伴ふ年額五百圓の經常費も、一兩年度中に實現を以つて、年額五百圓を國庫より全額に繰入され、將來は年額五百五十萬圓に増額することと、文部省が直接之れを管掌することと、

（東京報）文部省では、英、獨、英、米等歐米諸國の現況に鑑み、國家の育英教育事業をなすことにより、來年度重新に新規要求を提出してゐるが、大體大藏省の承認を得る見込み。左の如き要項で來年度から貧困にして學資を

費に困る秀才を 費で上級

學校へ來年度より

實施に決定

一、學生一人當りの月額給費額三十圓、中等學校は二十四セントとす。

明大に御下賜金

圖書館建設に一萬圓

創立滿五年を迎へた明治大學では、一日午前十時から紀念講堂で盛大な紀念式を舉行した。この日、駿河臺一帯は軒

に赤白の幕を張り、祝燈を飾り、慶びに輝く。定刻紀念式場には横田學長以下各職員、賓客、及第約三千名列席し正午祝宴を

開き、午後は餘興として映畫、オーケストラ、虚竹會の演奏があつた。尚ほ畏々と、明大の圖書

館建設の趣きを聞き召され、その

補助金の一部として金一萬圓下賜の御沙汰あり。横田學長は宮内省に出頭、一本宮相から拜受退出した。

賀 正

文化植民地

森 亨 吉

山 田 登 幸

中 森 憲 太 郎

バラグアス 謹

謹賀新年

カーラ東山代理人

今村新蔵

穀物類仲買 今村雜貨店 ジュゼッテオドロ謹

内外雜貨 今川商店 カーラジヤボネード

謹賀新年

カーラ東山代理人

謹賀新年

穀物仲買 柳宇太郎 ジュゼッテオドロ謹

穀物仲買 柳宇太郎 ジュゼッテオドロ謹

Casa Yanagui

穀物仲買 柳宇太郎 ジュゼッテオドロ謹

穀物仲買 柳宇太郎 ジュゼッテオドロ謹

ソロカバナ線 ジュゼッテオドロ謹

内外雜貨 今川商店 カーラジヤボネード

内外雜貨 今川商店 カーラジヤボネード

穀物仲買 柳宇太郎 ジュゼッテオドロ謹

ソロカバナ線 ジュゼッテオドロ謹

内外雜貨 今川

婦人の病ひの

素人診だん法

これさへ覽ねておけば大てい見當がつく
素人が婦人病と判断しますとか腫れ等によつて判断します。

●子宮内膜炎……普通婦人の
局部には粘液腺が澤山あつて、
過ぎ通つた粘り氣のある分泌物
を少しづゝ出してゐるのであります
は、大抵いの場合熱とか痛み
とか腫れ等によつて判断します。

●子宮内膜炎……普通婦人の
局部には粘液腺が澤山あつて、
過ぎ通つた粘り氣のある分泌物
を少しづゝ出してゐるのであります
は、大抵いの場合熱とか痛み
とか腫れ等によつて判断します。

賀正

恭賀新年

家具製造販賣

中山伴一郎

聖市アーヴィセラオ一六一一六四

謹賀新年

潮旅館 前田吉太郎

ナントス市アーランジエバベスター・ナ四四
電話一九二四番 郵函三二八番

謹賀新年

金山喜三郎

家具製造販賣

ナントス市アーランジエバベスター・ナ三七
電話一七九〇番

賀正サンバウロ學院

父兄會寄宿舍

一、師範、中學、商業其他專門學校豫備科
月謝廿五ミル二、葡語、英語、法語、日本語科、晝夜とも
一年生十五ミル三、寄宿舍（合費二二〇ミル）
土地高價、採光、換氣、浴室其他設備整備
寄宿舍は緑て無月謝とす

聖市アーナン・ジョアキン六七番

恭賀新年

小淵友市

謹賀新年

建築請負

三吉文人

ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六九番

工場カルバーリヨ、メンドンサ街六九

ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話二九二番ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六五七番

出利葉商店

地街市ロトスデレ
四四函郵U. Imamura
今村字八
野菜仲買業
自家ベア・コンデ・ナルゼーダス六五号賀正 貸寢台 大藤
聖市コンデ・ナルゼーダス七番謹賀新年
御旅館 成功館
古謝將義館ナントス市ランゴ、セフラ、デセフランブロ一五
電話二〇〇八番謹賀新年
建築請負 三吉文人
工場カルバーリヨ、メンドンサ街六九ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六九番ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六九番ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話二九二番ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六五七番謹賀新年
小淵友市
ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話二九二番ナントス市アーランジエバベスター・ナ二一〇
電話六五七番

ジラブル産物會社

Cia Brasil Bussan

恭賀新年
昭和七年一月元日
重役一同
事務理事 ヘンマン
理事 ルベック
社員 丹阪莊太郎
水谷美佐男
田平重治
石橋恒四郎
伊藤硬一

賀正

恭賀新年
社團法人
サントス日本人會恭賀新年
穀物賣買並委託販賣
與那嶺仁五郎
ナントス市アーランジエバベスター・ナ三三六
電話一六三七

ナントス港

鶴池圓平

賀正

中央事務所
營業部
Rua Alves Penteado 20
Avenida Exterior 93-A
São Paulo

Casa Tozan

MIZUKAMI & CIA.

Commisarios
Praça Maua — 25 Santos謹賀新年
珈琲 コミサリオ
ミズカミ・イ・コム・パニア力士ザ東山
ミズカミ・イ・コム・パニア

ナントス市ブラサ、ウマア一一五

モントデステデカンビーナ農場
モントデステビンダモニヤンガバ農場
中央線ビンダモニヤンガバ郵函一〇
カンビーナス郵函五九

聖市邦商中の老舗
瀬木商店を閉す
日本雜貨店を閉す
聖市邦商中の老舗
瀬木商店は、正月早々、メルカード角方面へ移転し専ら雜穀種子物を取扱ふ事に事業を經營する。由故瀬木四十選氏以来聖市商店は全く閉鎖する事に。本商店中は本品輸入の老舗の如きの歴史も斯くて過去の貞に、なつてしまふのは瀬木商店の華主共を淋しがらせて居る。昨年以來バウル及マリオナに精勤をもつ新店主鐵雄氏は以后是店加工工業の方へ其努力と資本を入れる計畫である由。

病人本位の宿屋を
在デュアルチーナ郡の太田某氏は新年早々バウル市に移動し來りベネフエンシヤ、ボルフゲザ病院の裏にて日本人病人本位の宿屋を經營する由。幾多病人がバウル市に出て來療養中宿屋の費用が嵩んでモーー要する事、是迄誰知れもやつて失敗した歴史がある。太田某氏は今度は旨くやんだと自信を業らしかつた。

リーンス市に於て
唱歌教材研究會

オルガンを以て實地研究する方狀を送り少年少女歌劇、仁王外

バウルの領事館年始拜賀式

在バウル帝國領事館の新年拜賀式は例年通り元旦午前

一時より始まり十二時に終る由

拜賀式後はバウル邦人小學生徒一同、父兄及在伯邦八年出席者へ茶菓饅頭を送る。

「三日に慶定變更しな

日本大坂商船アラビア丸は一日午後四時、リオ出帆は一月九日午後四時、リオ出帆は一月

日本大坂商船アラビア丸は一日午後四時、リオ出帆は一月

日本大坂



新
年
上原謙骨
取つたりや今年我早や五
十七
本年の第六感や吉兆事
筈の初日に立ちて我も伸
ぶ
かゝや子の達者し祈る今
年かな
今年から村安かれと祈り
なむ
阿良目出度筈立つや初日
影
小庭なれ初陽に夏の白菊

| 植民地謡正調 | | 天 | 伊 曉 |
|-----------------|--|--------|--------|
| 萬勞枯れても植民慈民 | | | |
| 土に根ひの根の木こそ | | | |
| 此土壤がもつて新移民に永く生 | | | |
| の生命があるんだ | | | |
| 伊出生の御本性と與名使者迄 | | | |
| 通知をどよ | | | |
| 地 | | ボク念 | |
| 大地万石也木根でも | | | |
| 打つて銷やす人の鉄 | | | |
| 人 | | 次 男 | |
| 西風に靴路の込んで | | | |
| 片端から響いて見る | | | |
| 李下にも坐を入れてつまむおと | | | |
| 次男坊のはつらつたる意氣もしま | | | |
| 見える | | | |
| 殖民地人は皆大男坊の意氣だ | | | |
| 恋じた | | | |
| 佳 | | | |
| 口に天へない涙がにじむ | | 網江 | |
| 異國にかゞやく日童章 | | | |
| 全 | | 愈和男 | |
| 赤い心を面に出すず | | | |
| まん丸すましている西瓜 | | 山本 | |
| 全 | | | |
| 霜に手られた辦辦の根から | | | |
| 青い芽がふきや風もしまる | | | |
| 全 | | 博士 | |
| 手つた西瓜の刀刃をきいて | | | |
| 金飛び込む夏のまだ | | | |
| 全 | | 清 葵 | |
| 渡浪さへ春草りや歸る | | | |
| 何時の春やら種麻布 | | | |
| 全 | | 光子 | |
| コケッコーと御園も此處も | | | |
| 朝も遠ぶかる旅既 | | | |
| 全 | | 博 正 | |
| アバニカカフーの粉絲織々々 | | | |
| 辨磨旗かやセツラ道具 | | | |
| 全 | | 藤 枝 | |
| 妻としとよて啼く處の聲 | | | |
| しんと聞いたよ柳子のカタ | | | |
| 全 | | 清 | |
| 隠りや黒人こちらな由よ | | | |
| 私しや黄色い新移民 | | | |
| 全 | | | |
| こゝは民族歌舞の舞台 | | | |
| 日本男女の血が躍る | | | |
| 天一等審選 沢ミルニアード | | | |
| 尾二等審選 五ミルニアード | | | |
| 人)三等審選 雪祭代表 | | 正 夫 | |
| 日本男女の血が躍る | | | |
| 備 正調謡多ります | | | |
| 天一等審選 沢ミルニアード | | | |
| 尾二等審選 五ミルニアード | | | |
| 人)三等審選 雪祭代表 | | | |
| 日本男女の血が躍る | | | |



野一色電氣療法普及機
日英米獨特許
伯亞出願中

兩國會

謹んで新年の御祝詞申
し上げす客年中は御引
立をこうほむり有難度
く御禮申し上げます
本年も
より明るき御生活の爲
めによりさわやけき
御健康のためニ
相變らずお愛顧の程一
へにお願ひ申し上げま
す

正月一日